

森づくり最前線

中越森林管理署 小出森林事務所 首席森林官 志田 悟



残雪の守門岳

私が勤務している小出森林事務所は、新潟県中部に位置し、主に魚沼市、長岡市にかかる国有林の約30000haを管理しています。

管内には、尾瀬ヶ原、奥只見ダムを始め守門岳、平ヶ岳、駒ヶ岳、中ノ岳等の山々があります。

特に守門岳周辺には、豪雪地帯におけるブナを主とする天然林保護のために守門岳ブナ植物群落保護林を設定して、自然環境の保全を重視した管理経営をしています。

毎年5月には山頂で守門岳山開きが行われ、まだ残雪のある守門岳登山は、私の恒例行事となりました。



奥只見丸山スキー場

只見川上流地域の奥只見ダム一帯は、ブナ、ミズナラ等が急峻な地形と調和し、優れた景観を呈していることから、越後三山只見国定公園に指定されています。

奥只見ダムと隣接する八崎地区には、豊富な積雪量を活かした春スキーを主体とした奥只見丸山スキー場があり、森林レクリエーションの場として毎年多くの利用客でにぎわっています。豊富な雪とブナの新緑での滑走が楽しめます。

この様な自然豊かな小出管内でも、最近ではシカ害が確認されています。ニホンジカによる尾瀬ヶ原での貴重植物の食い荒らしや、踏み荒らし



尾瀬ヶ原

は深刻な問題となっています。中越森林管理署では、平成26年からシカの移動ルートを調査するためにセンサーカメラを設置しています。が、広大な湿原での全体的なルート解明には、まだまだ地道な調査が続きます。

当署では小出管内も含めイヌワシ等の生息や営巣も確認されています。平成27年には「中越森林管理署におけるイヌワシ等の保全対策」として、検討委員会の設置や民有林と連携した取組、流域住民等への普及啓発等を実施しています。

森林官を対象とした現地学習会等も開催されましたが、なかなか普及



イヌワシ(出典:(公財)日本自然保護協会)

は見慣れないイヌワシの確認は容易ではありませんでした。

絶滅が危惧されるなか、今後は営巣環境の保全や餌場の確保を目的とした森林整備の推進が重要になってきます。

この自然豊かな森林を後世に残していくことが今の我々の使命だと思います。

発行所 関東森林管理局
編集 総務課
TEL(027) 210-1158
FAX(027) 230-1393